

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2	学年	1	類型	—
教科書	第一学習社 高等学校 新生物基礎			副教材	第一学習社 新課程版 ネオバルノート 生物基礎				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4	第1章 生物の特徴	第1節 生物の共通性 ①生物にみられる共通性 ②生物の共通性の由来 ③細胞構造の共通性	○		◎	学習のねらい 1学期は生命活動に必要なエネルギーと代謝について学びます。2学期は遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について学びます。体内環境が保たれている仕組み、体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わり、免疫と細胞の働きについて学びます。3学期は陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことを学びます。生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを学習します。
				◎	○		
				◎	○		
	5	第2節 生物とエネルギー ①エネルギーと代謝 " 中間考査	◎	○	◎		
			○		◎		
				◎	○		
	6	第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA ①染色体・DNA・遺伝子 ②DNAの構造 期末考査	◎	◎			
○				◎			
			◎	◎			
7	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成①タンパク質の構造と働き ③遺伝子の発現とタンパク質合成(1) ③DNAの複製 ④DNAの分配	○		◎			
			◎	○			
		◎	○				
2 学期	8	第3章 ヒトのからだの調節 第1節 からだの調節と情報伝達 ①恒常性と情報の伝達 ②神経系 ③自律神経系の働き ④ホルモンの働き 中間考査	◎	◎			
			○		◎		
				◎	○		
	9	第1節 からだの調節と情報伝達 ①恒常性と情報の伝達 ②神経系 ③自律神経系の働き ④ホルモンの働き	○		◎		
			◎	○			
				◎	○		
	10	第2節 免疫 ①病原体からからだを守るしくみ ②自然免疫 ③獲得免疫のしくみ ④獲得免疫の特徴 中間考査	◎	◎			
			○		◎		
				◎	○		
	11	第2節 免疫 ①病原体からからだを守るしくみ ②自然免疫 ③獲得免疫のしくみ ④獲得免疫の特徴 期末考査	○	◎			
			◎	○			
				◎	○		
12	第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 ①さまざまな植生 ②植物と環境 ③植生の遷移と環境 ④植生の遷移と環境 ⑤遷移とバイオーム ⑥日本のバイオームと気候 ①生態系 ②生物どうしの関係 ③生物どうしの関係と種の多様性 ④生態系のバランスと攪乱 ⑤人間活動による生物の持ち込み 学年末考査	○		◎			
		○		◎			
		◎	◎				
3 学期	1	第2節 生態系とその保全 ⑥日本のバイオームと気候 ①生態系 ②生物どうしの関係 ③生物どうしの関係と種の多様性 ④生態系のバランスと攪乱 ⑤人間活動による生物の持ち込み 学年末考査	◎	○			
			○		◎		
				◎	○		
	2	⑥日本のバイオームと気候 ①生態系 ②生物どうしの関係 ③生物どうしの関係と種の多様性 ④生態系のバランスと攪乱 ⑤人間活動による生物の持ち込み 学年末考査	◎	◎			
			○		◎		
				◎	◎		
3	⑥生息地の破壊 ⑦生息地の分断化 ⑧生態系の保全とその意義 "	◎	○				
			◎	○			
		○		◎			

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【概要】

- 単なる語句の暗記ではなく、生物界に存在する原理を理解し、柔軟に応用できることが大切です。そのためには、まずは興味を持って取り組みましょう。
- 問題を解けば解くほど、知識がつながり、自由に応用できるようになります。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1時間の授業の流れは、次のようになります。
 - ① 前回の授業の内容を小テストなどで確認します。
 - ② 新しい内容に取り組みます。
 - ③ 内容を確認して、要点を整理、問題演習を行います。
- 覚えた語句を用いて問題を解くことが基本です。
→教科書・ノートを確認しやすくしておきましょう。

【家庭学習】

- 授業を受ける前に、教科書を読んで、授業内容を予習しておきましょう。
- 予習の内容を確認しながら、授業時間内に理解します。
- その日のうちに復習をしておく、授業内容を理解する度合いが違ってきます。

【定期考査】

- 語句の意味、表記などを正確に覚えることが基本になります。
- 初めて見る問題でも、知識の応用で全て解けます。あきらめず粘り強く取り組む姿勢をつくりましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習しようとする態度、課題提出とその内容、ノートの整理状況 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から総合的に評価します。		
評価の基準	1 学期	中間考査、期末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況および学習しようとする態度(主に③の観点から評価します。) ノート、問題集の整理状況(主に②と③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)	
	2 学期	中間考査、期末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況および学習しようとする態度(主に③の観点から評価します。) ノート、問題集の整理状況(主に②と③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)	
	3 学期	学年末考査(主に①と②の観点から評価します。) 出席状況および学習しようとする態度(主に③の観点から評価します。) ノートと問題集の整理状況(主に②と③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②と③の観点から評価します。)	
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均	